

令和2年度学校評価報告書

令和3年3月29日

北海道教育委員会教育長 様

北海道真狩高等学校長 西村 博幸

次のとおり令和元年度の学校評価について報告します。

1 本年度の学校教育目標

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能に加え、農業や食に関する専門性を養い、グローバルな視野を持って、地域産業を担うことのできる生徒を育成する。
- (2) これからの時代を生き抜くために必要な資質・能力を身に付け、自己の能力を最大限に伸ばさせて、主体的に逞しく生きることのできる生徒を育成する。
- (3) 豊かな心を養い、互いに磨きあい、他者と協力して、自らの人生と社会の未来を創造するために、力を尽くすことのできる生徒を育成する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> 教職員研修等を活用した自己研鑽と研修会における情報の共有により資質向上を図る必要がある。 学校行事等のホームページへの掲載を増やすことで学校の見える化を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校からの方法発信が少なく、活動が見えにくい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 報道等の活用を更に充実させ、積極的な情報発信に努める。 学校だよりを定期的に発行するなど、保護者のみならず地域への情報発信に努める。 	
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> レポートによる生徒の理解の把握や単元ごとの授業評価を実施することで授業の改善につなげる必要がある。 学習習慣の定着に課題があり、教科での指導や寮での学習機会を利用し、学習習慣の定着に努める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習意欲を高め、主体的に学習する姿勢を身に付けてもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 公開授業月間における相互研修や、各種研修会への参加により研修成果を共有し、授業力の向上を図る。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活はもちろん寮生活における出来事も情報共有し、早期の指導により問題解決を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体では「十分に取組まれている」「ほぼ取組まれている」で69%となっているが、学年によっては54%とやや低い値となっている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談や日常的な生徒の情報共有を図ることで、早期の指導や問題解決に努める。 指導において、教員個々の温度差のない指導を徹底する。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 予定していた進路活動が十分にを行うことができなかったが、今後HRや授業において進路活動の充実を図り、進路実現に繋げる必要がある。 組織的な取り組みによる面接指導の充実に取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体では「十分に取組まれている」「ほぼ取組まれている」で72%となっているが、「やや不十分」が15%となる学年もある。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップの充実を図り、自己理解に基づく勤労観や職業観の育成に努める。 生徒情報を共有し、早期の面接指導に努める。 保護者への情報提供を継続することで、指導の理解促進に努める。 	
専門教育	<ul style="list-style-type: none"> GAP教育を指導に生かし、主体的に取り組む生徒の育成を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門知識を活用した資格取得への取り組みを考えてほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> GAP教育に組織的に取り組み、責任感を持たせることで主体性を醸成する。 特色ある教育課程の編成に組み込み、指導内容や方法の改善に努める。 	
寮教育	<ul style="list-style-type: none"> 生徒個々の規範意識を高め、集団の一員であることの自覚をより一層高めることで、基本的な生活習慣の確立に努める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信が少なく、寮の様子が見えない。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 規則の確認や生徒同士の連絡や報告を徹底することで、基本的な生活習慣の確立に努める。 担当者を決めることや発信の数値目標を設定するなど、定期的な情報発信に努める。 	
公表方法	学校ホームページ等で公表。	

3 添付資料 令和2年度学校評価アンケート集計結果